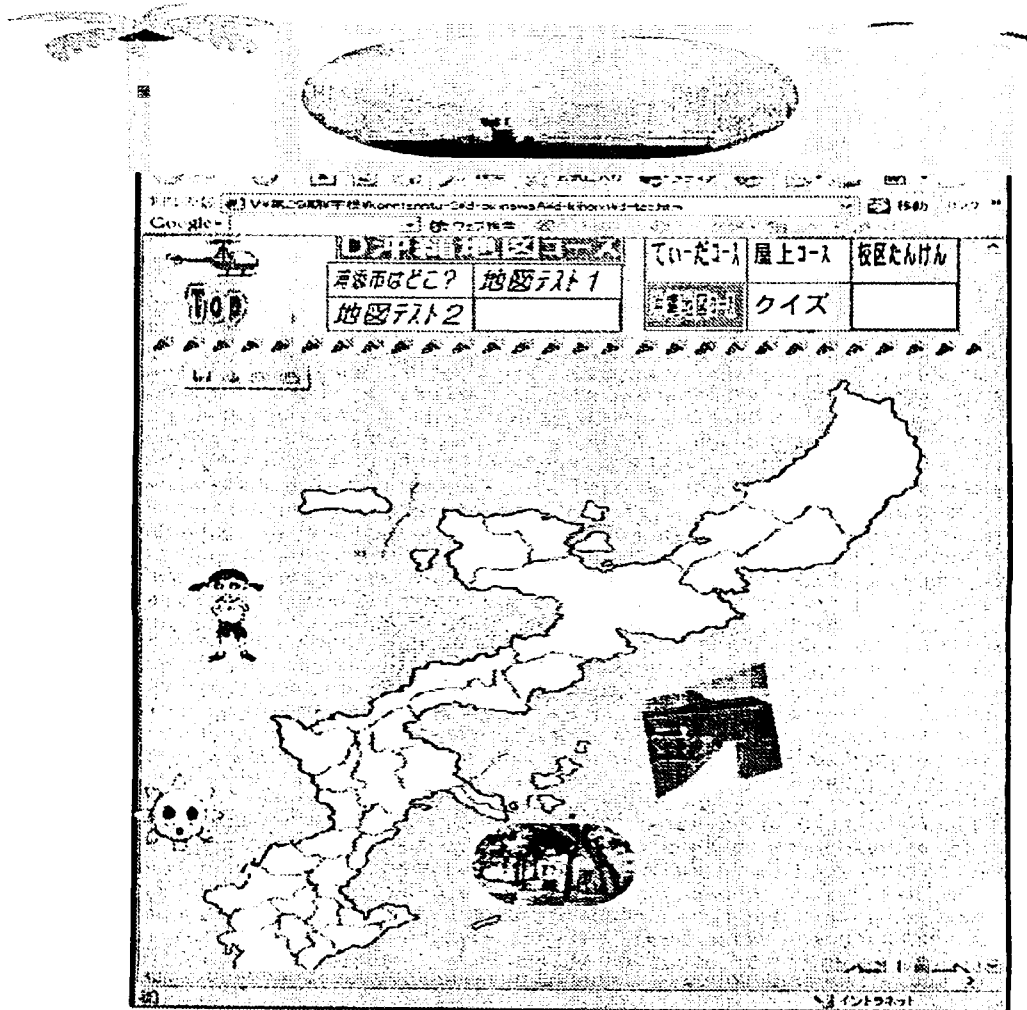
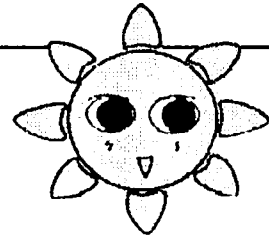


平成15年度 研究協力員報告書
(情報教育) 社会科Web教材

私たちの浦添市

「ていーだくん」

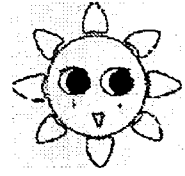
ガイドブック



平成 16年 3月
浦添市立教育研究所



私たちの浦添市「ていーだくん」 ガイドブック



Ⅰ 研究をすすめるにあたって

1 趣 旨

学習指導要領では、社会科の目標を、「地域社会の一員としての自覚をもつようにする」「地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする」「地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考える力を育てるようにする」と示している。その中で、小学校3・4学年の社会科の学習主題を地域社会の学習とし、児童にとって最も身近な地域である校区の学習からはじまり、市町村、そして都道府県まで広げた地域学習が組まれている。

このことを受け、小学校3年生社会科の地域学習は、「校区たんけん」「市内施設見学」等、体験学習を中心に行っている。児童が実際に汗をかきながら通りを歩き、五感を通して地域の特徴を見つけ、地域の人々やそこに働く人々の様子を見たり話を聞いたりしながら、自分たちの生活との関わりに気づかせる学習である。それは、地域の地理的・歴史的あるいは社会的事象の知識理解だけでなく、そこが自分の生活と密着した生活場所とであることの認証につながり、地域への愛着を抱かせるきっかけとなり得るものである。

現在、市販の教材はもとより、インターネットでの資料サイトも多種多様にあり、その利用度も増えてきている。しかし、「校区たんけん」等の特定の地域を学ぶ教材は殆どなく、各学校で独自に作成している。又、校区といっても教師の生活地域でないことが殆どで、地理的な知識が詳細でない。そのために、実施踏査による教材研究や学習の準備に多くの時間を要し、絵や写真・動画等を取り込んだ効果的な教材づくりが難しいことが現状である。

そこで、絵や写真・動画等を組み込んだ教材作成がしやすくなるWebの特性を生かし、児童、教師のサポートができる地域学習における補助教材として、本市独自のWeb地域教材「ていーだくん」の開発に至った。又、本市の地域サーバーに登録することにより、本市全小学校での学習時間や、学習準備のための利用が容易になり、教師の学習準備時間短縮を図ることにもつながる。

さらに、文書管理共有システムを構築し、各教師が持つ資料や情報を登録することで、教師間の情報の共有化、教師間の知の交流化をも意図するものである。

2 作成方針

(1)地域（浦添市・校区）学習の補助となる教材を作成する。内容

- ①時間的、距離的要因等で直接体験が容易でない学習の補助
- ②小学校3・4年生を対象にする。
- ③社会科副読本「のびゆく浦添市」に沿った内容にする。

(2)Web化することの必然性を明確にする。Web化

- ①Web教材の有効性を明示する。
- ②コンピュータを活用することの有効な内容を教材化する。
- ③写真や動画情報を多く取り入れる。

(3)情報の信頼性及び安全性に留意する。留意点

- ①より新しく正しい情報を取り入れる。
- ②キャラクターはできるだけオリジナルなものにする。（著作権）
- ③資料提供、引用等はその出所を明示する。（著作権）
- ④画像情報等で個人が特定できるような場合はのせない。（肖像権）

(4)児童及び教師が活用しやすい内容、方法で作成する。

活用について

- ①本市小学校に入っているソフト（一太郎スマイル、キューブ）で扱える方法で作成する。
- ②起動から終了までの一連の作業が、単純で扱いやすいようにする。
- ③授業で活用しやすい時間的な長さを意識して作成する。
 - ・一つの教材の時間的な長さは、一単位時間で扱えるものにする。
- ④「ていーだくん」ガイドブックを作成し活用しやすいようにする。
 - ・各教材のねらいを明確にし、具体的な活用場面を示す。
 - ・操作手順を示す。
- ⑤教師用資料の充実を図る。
- ⑥教師が情報交流できるシステムの構築を図る。

<自作キャラクター>



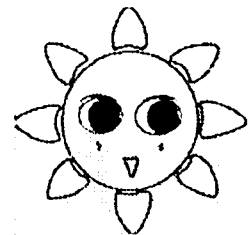
女の子



男の子



シーサーくん



ていーだくん

II Web化の意義

1 Web教材の有効性

(1)情報の価値

- ①繰り返し使える。
- ②新しい情報が得やすい
- ③静止画や動画情報が得やすい。
- ④情報量が多い。

(2)情報入手時間の短縮

- ①高速回線のネットワークが整備されたことから、静止画や動画情報等の大容量データの入手にかかる時間が短時間である。〈高速回線〉

(3)共有化と交流

- ②各教師の持つ個々の情報を提供し合うことで、共有の情報となる。
- ③情報の共有化や教師各々の理論や質問の応答は教師間の知の交流となり、互いの知の蓄積となる。

(4)教材の価値

- ①より多くの意見を反映した教材づくりが可能であり、教材の深まりが得られる。
- ②静止画、動画を使った教材作りの幅が広がる。
- ③教材の修正・削除が容易であることから、常に新しく、より効果的な内容を求めることができる。

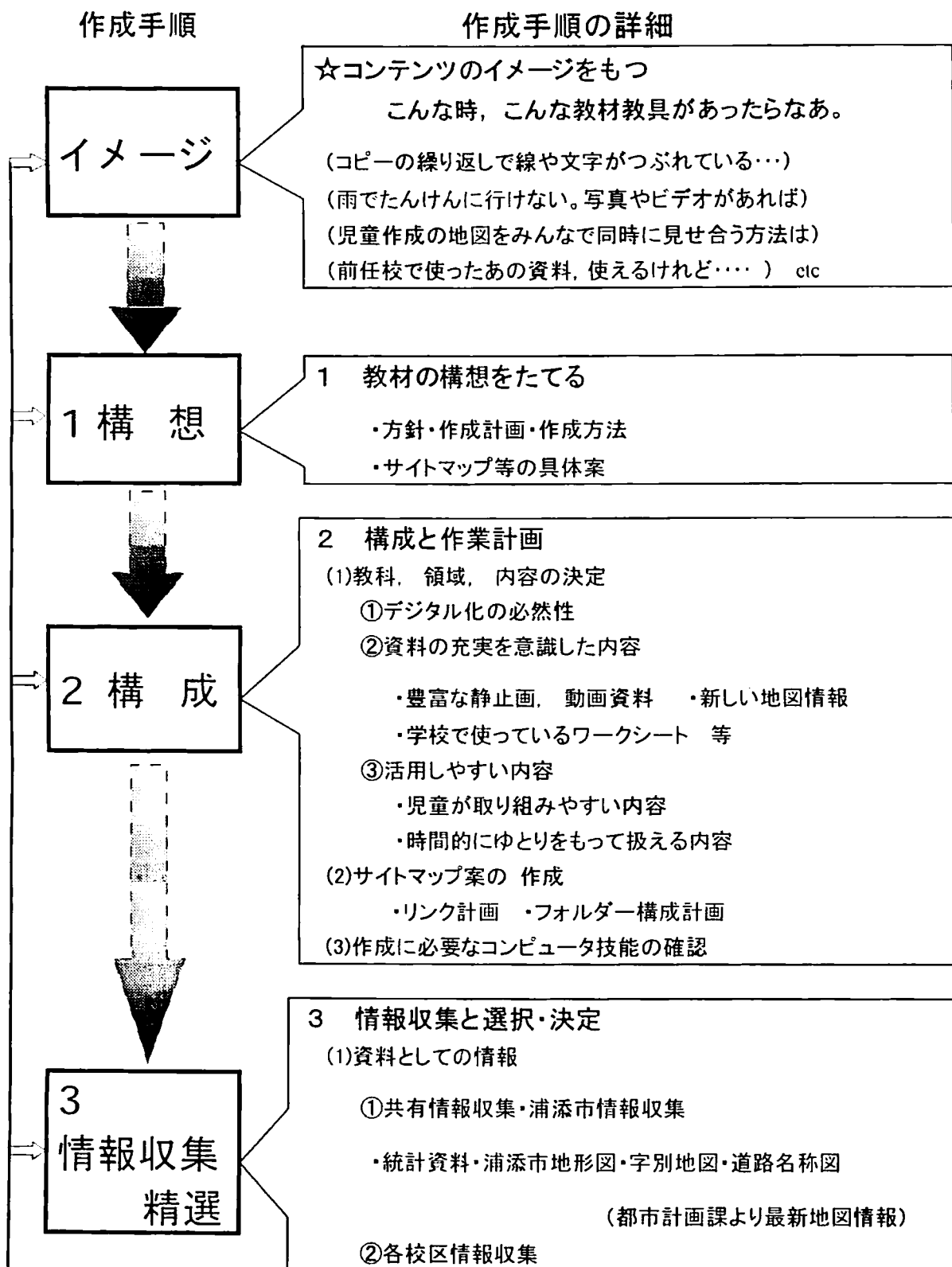
(5)活用幅の広がり

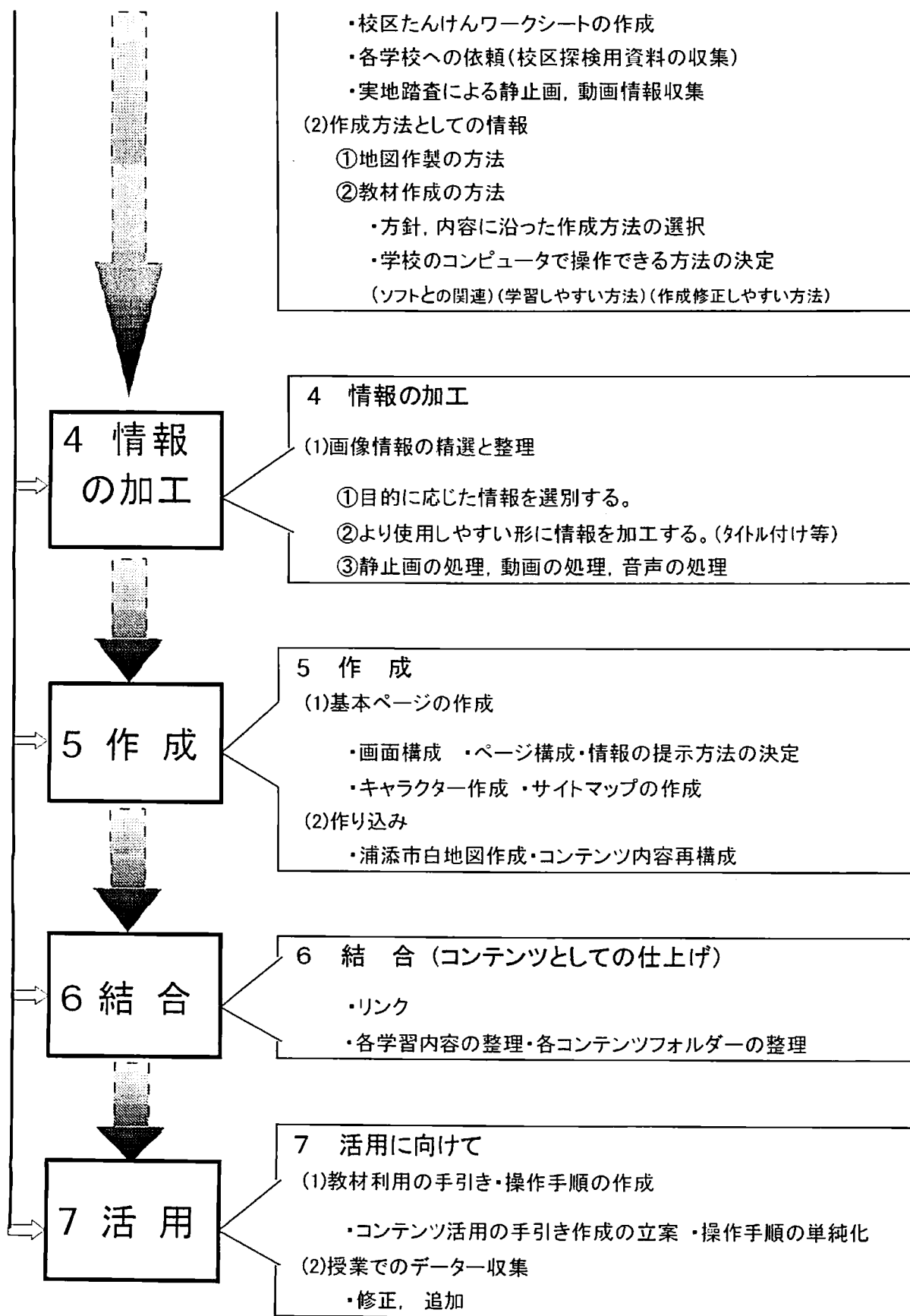
- ①学習時間、学習内容、学習形態等での幅が広がる。
- ②授業時間だけでなく、自主学习でも活用でき、児童の学習の場が広がる。
- ③教材、教具の準備時間が短縮されることで、教師の時間を有効的に使える。

2 地域教材Web化の有効性

- (1)地域の変化に伴って、新しい情報への更新が容易である。
- (2)直接体験できない場合の疑似体験学習活動の手段として有効である。
- (3)口頭や黒板、紙面上での説明や教材準備が複雑な場合に有効である。

III Web教材「ていーだくん」作成手順





IV 浦添市Web教材

「ていーだくん」の紹介

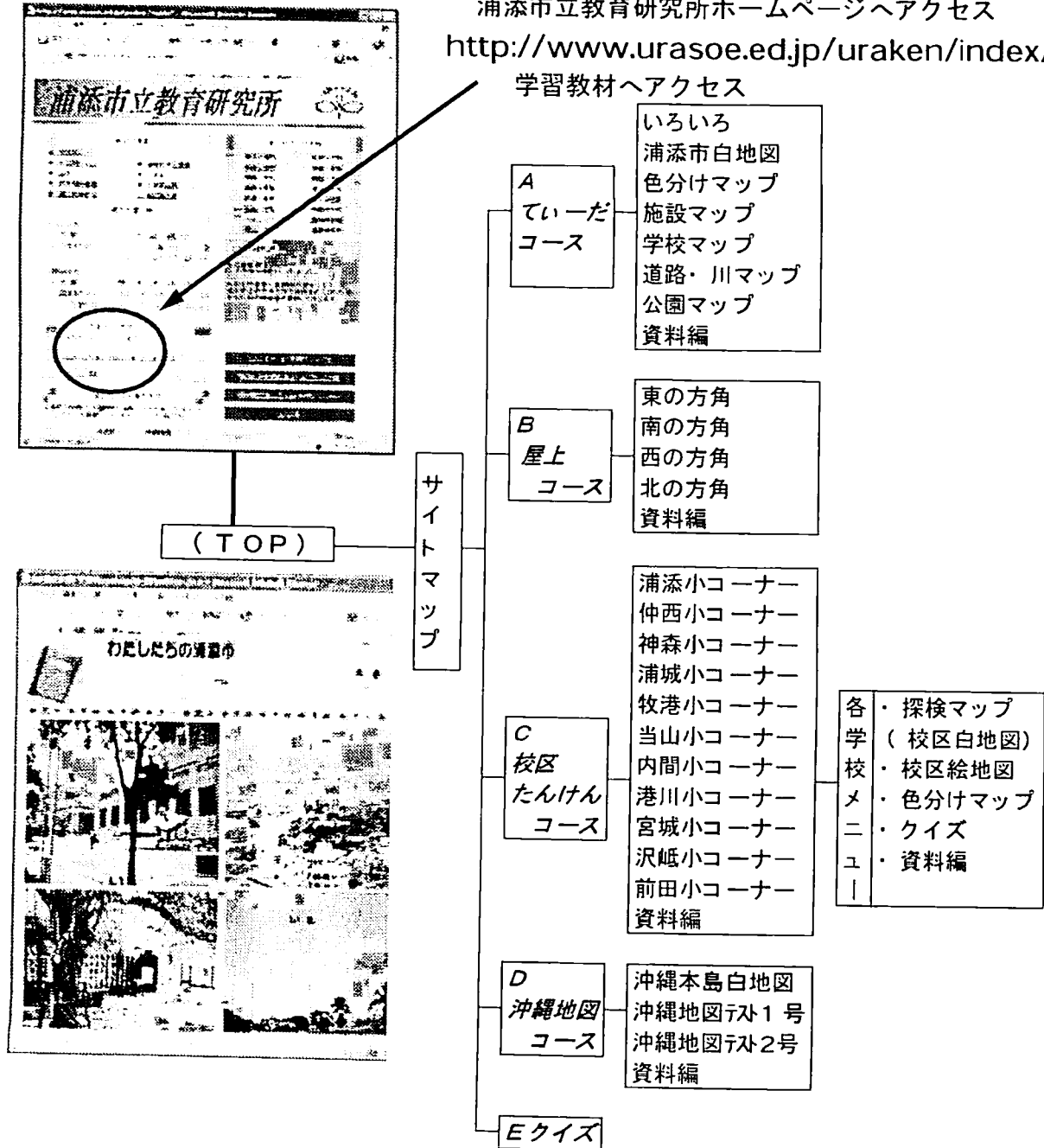
1 全体構成と操作手順

「わたしたちの浦添市 ていーだくん」へのアクセス手順

浦添市立教育研究所ホームページへアクセス

<http://www.urasoe.ed.jp/uraken/index/>

学習教材へアクセス



2 メニュー一覧

(1) サイトマップ

※5つのコースにわかれる。
 A いてだコース
 B 屋上からコース
 C 校区たんけんコース
 D 沖縄地図コース
 E クイズ

※サイトマップから各コースを選択

※資料編は、資料一覧サイトにすすみ、そこから選択する。

画面2 (メニュー一覧サイト)

(2) 資料一覧 (教師用サイトマップ)

※各コンテンツの資料一覧で、ここから使いたい資料をダウンロードし、印刷をするなどして、学習での活用を図る。

※資料の種類

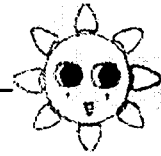
- ・ 地図
- ・ 静止画
- ・ 動画
- ・ ワークシート等

画面3 (教師用資料一覧サイト)

3 教材

○教材名 教材その1 地域学習用コンテンツー浦添市編

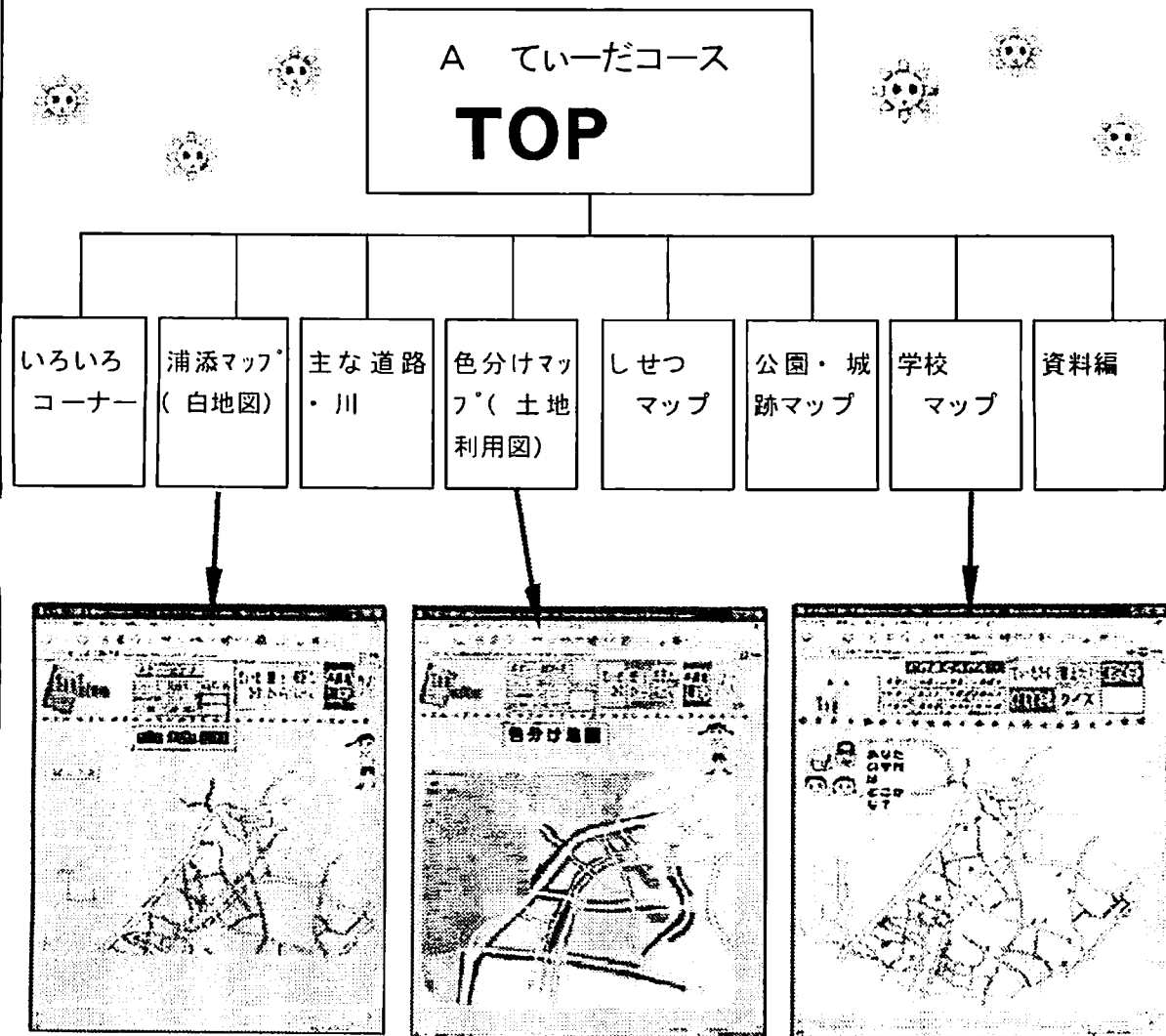
A ていーだコース



○教材について(制作の意図・活用の目的)

- ・浦添市についていろいろな資料をのせることで、活用幅の充実を図った。
- ・「A ていーだコース」はどのページも独立したコンテンツで、資料としての性質が強い。社会科や総合的学習の時間での活用ができる。
- ・校区たんけん時に資料として活用を図り、校区から市に広げる学習をする場合、調べ学習をする場合の教師の教材研究(事前準備・事前把握)の資料として活用できる。
- ・浦添市の虫・植物、歴史等多方面にわたりコンテンツ作成が考えられる。内容の広がりや発展等、今後の作る楽しみが多いコース。

○教材の内容・構成



画面23(Aコース:白地図)

画面24(Aコース:色分け地図)

画面25(Aコース:学校マップ)

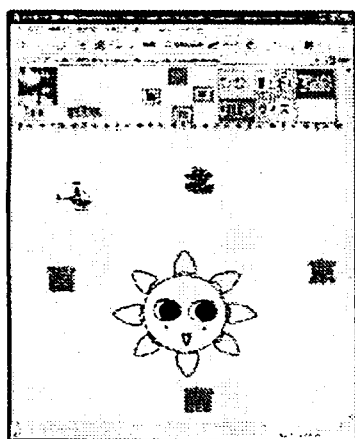
○教材名 教材その2 -3年生地域学習用画像コンテンツ

B 屋上コース

○教材の特徴・制作の意図

- ・浦添市役所の屋上からの四方位の景色を画像に取り込み、方位や全景を見ることができる。
- ・市内の街並み、自分たちの校区の位置を把握できる。
- ・天候の影響、時間的・距離的な理由で、実際に市役所まで行けない場合に有効である。

○教材内容・構成



画面4(BコースTOP)

B 屋上コース
TOP

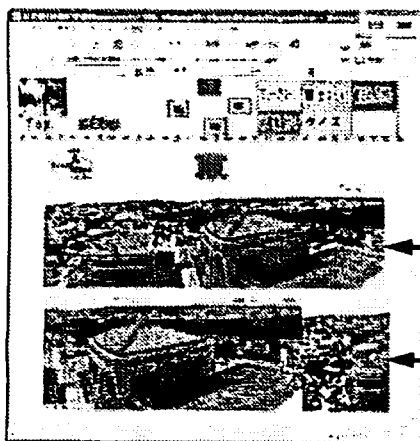
東の様子

南の様子

西の様子

北の様子

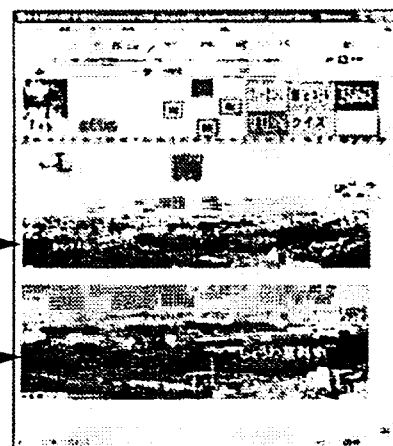
資料編



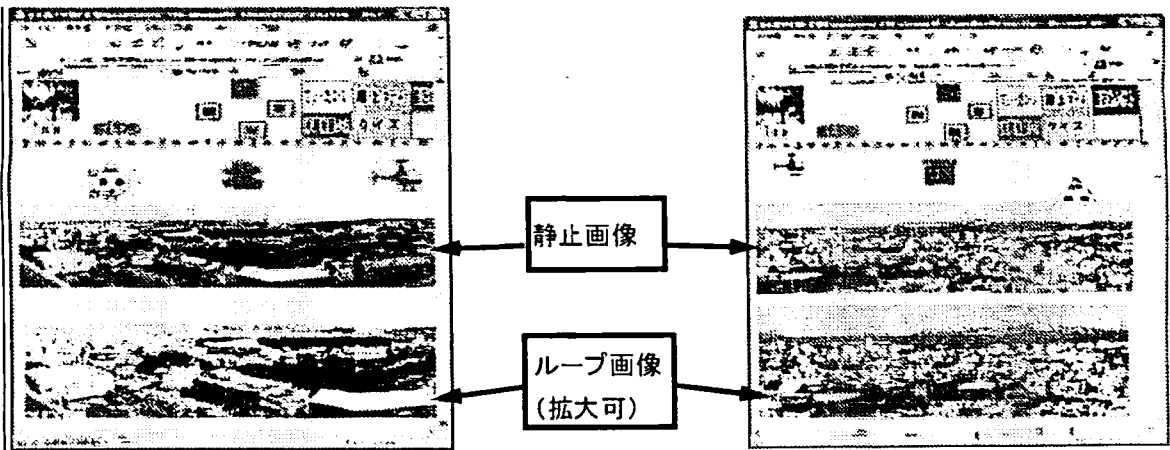
画面5(Bコース:市役所の屋上から
眺めた北の方角の様子)

静止画像

ループ画像
(拡大可)



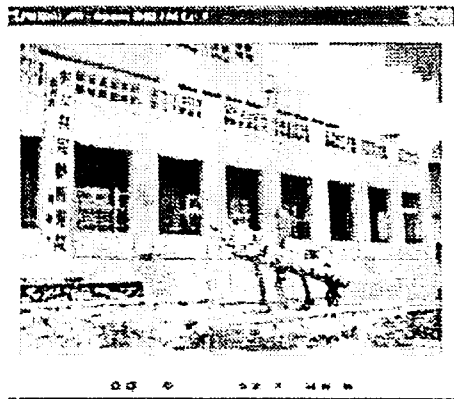
画面6(Bコース:市役所の屋上から
眺めた西方角の様子)



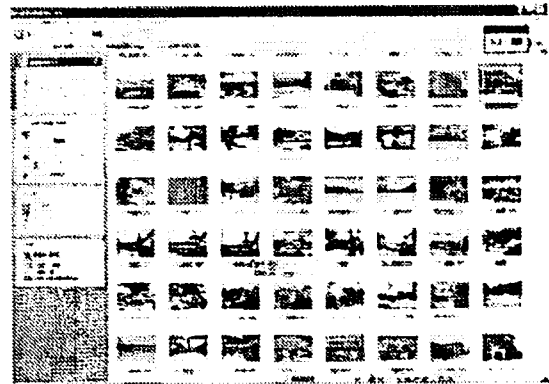
画面7(Bコース:市役所の屋上から
眺めた北の方角の様子)

画面8(Bコース:市役所の屋上から
眺めた西の方角の様子)

○資料編



画面9(Bコース:公共施設
「市役所の画像資料」)



画面10(Bコース:画像資料一覧)

○活用場面

単元名: 1 見つめよう
わたしたちのまち
1 まちたんけんをしよう
(1)高いところに上って

指導の流れ

- ①各方位の様子をみて、気付いたことをまとめ、話しあわせる。
- ②みんなの発表や画像をもとに、浦添市の様子の特徴について考えさせる。
- ③自分たちの住む地域の位置を確認させる。
- ④画像を参考に地域の様子や特徴を考え、校区たんけんに関心をもたせる。

○教材名 教材その3 - 3年生校区たんけん用地図・画像コンテンツ

C 校区たんけんコース

○制作の意図

校区たんけんではそれぞれが集めた情報をもとに、みんなで校区地図を完成させる学習活動が主に展開されている。本コンテンツは、その体験学習の補助教材として作成したコンテンツである。

各小学校校区の白地図・土地利用図・絵地図・ワークシート等を印刷したり、校区の静止画や動画の情報を取り出し活用することが出来る。校区たんけんの学習や教師の校区たんけんのための下調べ、教材準備での活用を目的としたものである。

○教材の特徴

校区たんけん後、自分の地図を作成し、お互いの情報交流を図ることで、児童が共に関わりながら学習を深めることをねらいとする。それぞれの情報をWeb化することで、各自で見つけた校区の情報等を学級の全児童が一斉に得ることが容易になる。

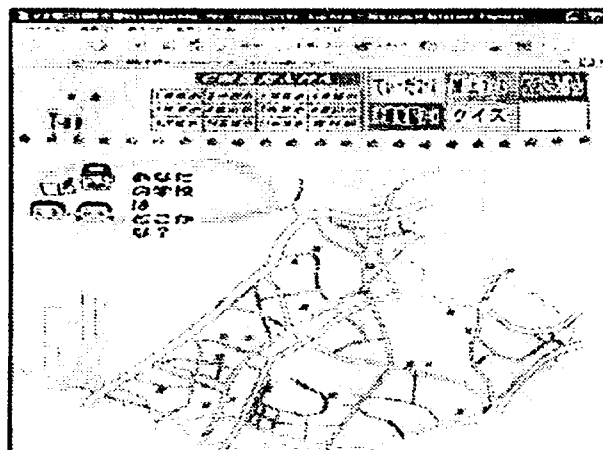
また、たんけん後の情報整理や学級絵地図作成、まとめ等での活用、実際の地域の様子との比較や確認、特徴を把握する場合での活用ができる。具体的な活用場面は下記の通りである。

- ・お絵かきソフトで「たんけんマップ(白地図)」を開くと、スタンプを使って絵地図をかくことができる。
- ・校区たんけん学習の地域下見や資料準備に活用できる。
- ・各校区白地図や絵地図ワークシート等のメニューがあり、印刷して学習に利用できる。
- ・鮮明な画像がいつでも取り出せる。
- ・資料保管の煩わしさが少々削減される。
- ・地域の変化にあわせて、随時修正可能である。

○教材の構成・内容

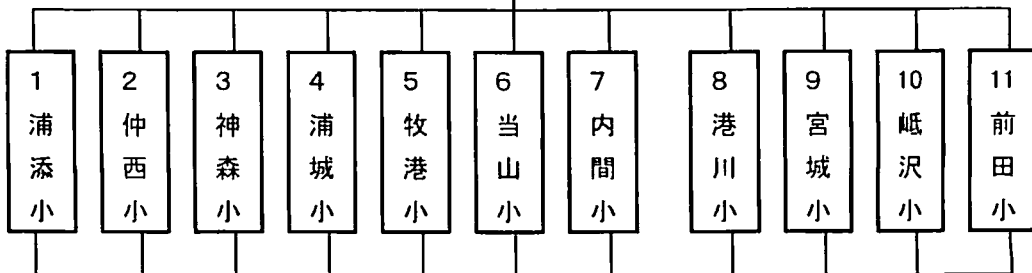
※浦添市の全体地図から自分の学校をさがすことで、浦添市での位置関係をつかむことができる。

画面11(C校区たんけんコース
TOP:学校マップ)



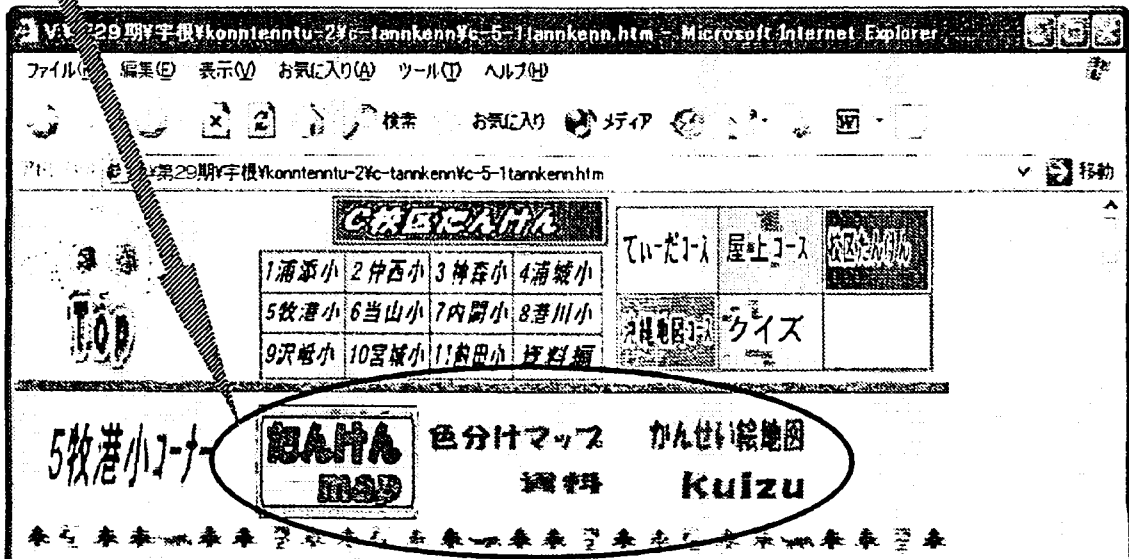
C 校区たんけんコース

TOP



| | | |
|---------|--------|-------|
| 校区白地図 | 色わけマップ | 完成絵地図 |
| 主な道路マップ | クイズ | 資料 |

学校コーナーごとに、
各メニューがある。



画面12 (C校区たんけんコース: 牧港小コーナーメニュー)

○活用場面

単元名: 見つめよう わたしたち

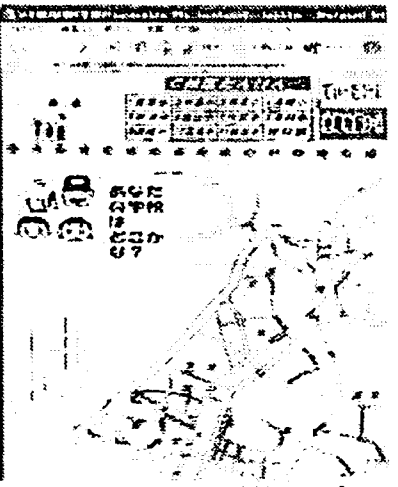
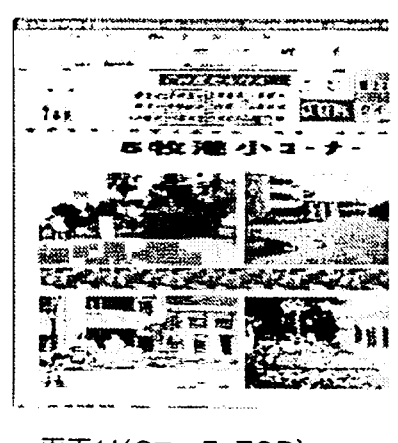

1 まちたんけんをしよう

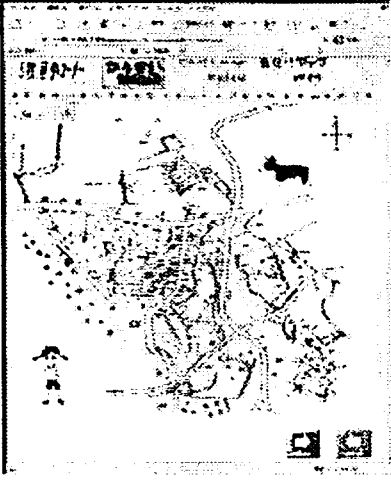
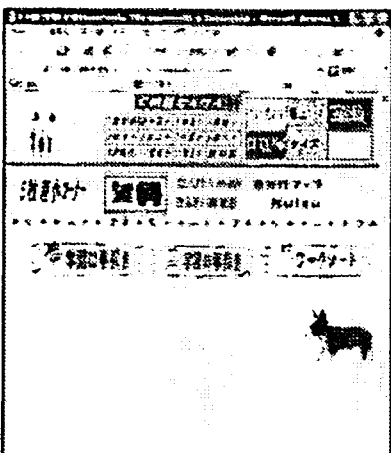
2 まちの絵地図をつくろう

○さあ、まちたんけんに出発だ

○みんなでつくろう まちの絵地図

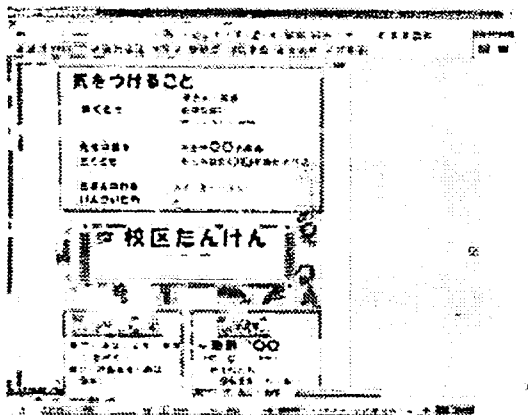
○もっと調べてみたいな

| 活用場面 | 画面 | 備考 |
|---|--|--|
| <p>○TOPページの浦添市の学校地図から、自分の学校をさがし、市内での位置を把握する。</p> |  <p>画面13(Cコース:学校マップ)</p> | <p>※学校マップから自分の学校を探すことで、市内における学校の位置を把握でき、校区たんけんのねらいにつなげる。又、学校や地域の位置を把握することは、地域の特徴を知る上でも大切である。</p> |
| <p>○自分の学校のTOPページから、メニューを選ぶ。</p> |  <p>画面14(Cコース:TOP)</p> | |
| <p>○校区たんけんでみつけたことを白地図に書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一太郎スマイルで白地図を開く。 ・たんけんカードをもとにお店、家、施設その他をスタンプする。 <p>○できた絵地図を紹介しよう</p> |  <p>画面15 (Cコース:校区白地図)</p> | <p>※資料として印刷可能である。</p> <p>※児童の校区地図作成用として活用できる。</p> <p>※お絵かきソフトで作成してあるので地図の変更がある場合に修正可能である。</p> |

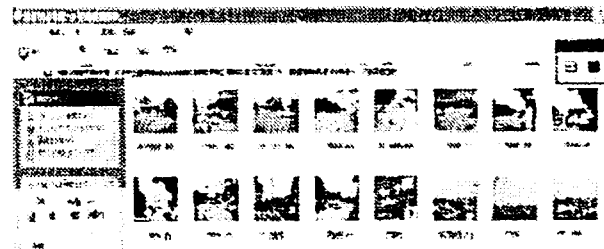
| | | |
|---|---|---|
| <p>○メニューから「かんせい 絵地図」を選ぶ。</p> <p>○自分が作った地図と比べ たり、実際の校区の様子 を確かめたりする。 (どんな建物が多いか) (気づいたことはどんな ことか)</p> |  <p>画面16(Cコース:校区絵地図)</p> | <p>※教師の事前調査に活用できる。</p> <p>※学級で絵地図を作った後の確か めに活用できる。</p> <p>※絵地図の中に特徴的な建物や場 所の画像情報を組み込んであり 静止画・動画によって確認するこ とができる。</p> |
| <p>○メニューから 「色分けマッ プ」を 選ぶ。</p> <p>○地域の土地利用の様子 を確認し地域の特徴を見 つける。</p> |  <p>画面17(Cコース:色分けマップ 校区の土地利用マップ)</p> | <p>※上の絵地図を色で示し地図から 土地利用の特徴がつかみやす い。</p> <p>※絵地図と対応させ活用すること で理解が深まる。</p> |
| <p>○たんけんマップ作成は、 右の資料から白地図を開 き、お絵かきソフト(一太 郎スマイル、ハイパーキ ュ ーブ Jr)のスタンプを 使って作成する。</p> |  <p>画面18(Cコース:資料編)</p> | <p>※資料編は、主に教師用のコンテ ンツである</p> <p>※資料の種類は各学校により異な るが、基本的には下記の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区白地図 ・土地利用図 ・完成絵地図 ・ワークシート等 ・静止画、動画情報 |



画面19 (Cコース: 牧港小ワークシート
「たんけんカード」)



画面21 (Cコース
: 牧港小たんけんの手引き)



画面22 (Cコース: 牧港小動画資料
「国道58号の様子」)

○ 教材名 教材その4 沖縄地図学習用コンテンツ<4年生>

D 沖縄地図コース

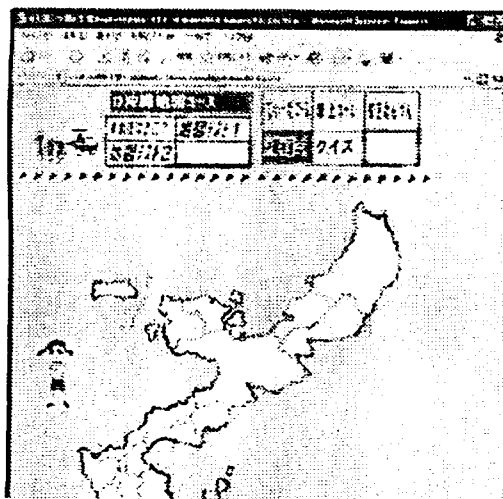
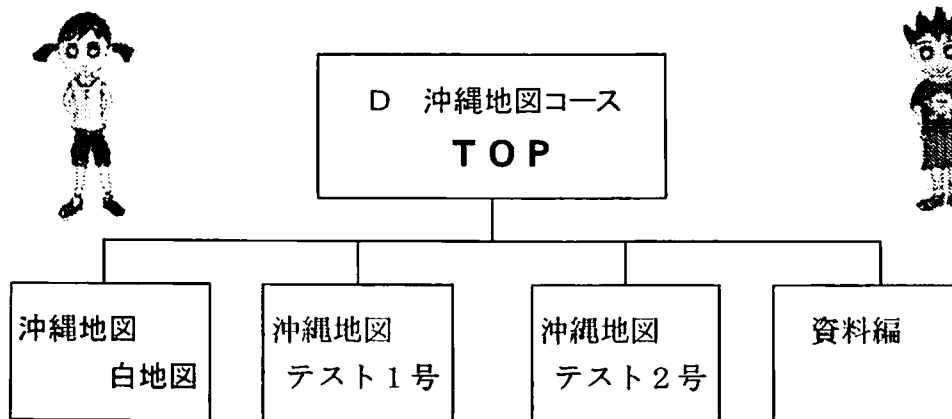
○ 教材について

ゲーム的に、沖縄県の市町村名やその位置を覚える事のできるパズル教材をイメージして作成した。4年生社会科では、市町村名を覚えると学習がスムーズになり、学習の意欲づけになる。

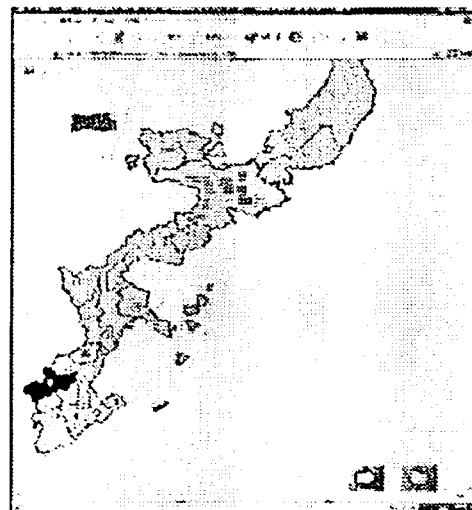
社会科、総合的学習の時間等で活用できる。

- ①沖縄県市町村名を覚える
- ②いろいろな沖縄県マップを作る

○ 教材の内容・構成

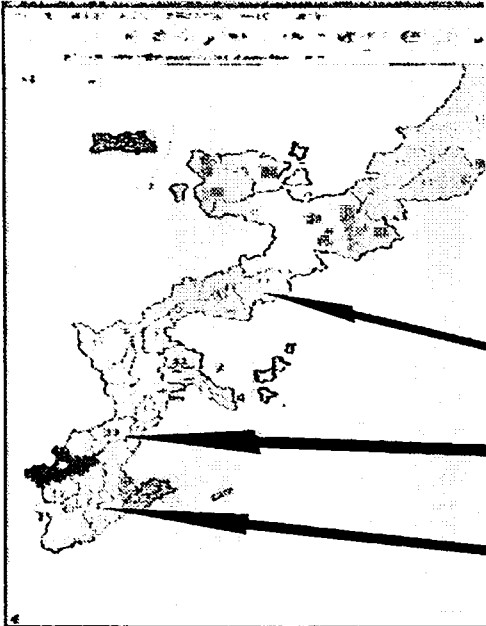

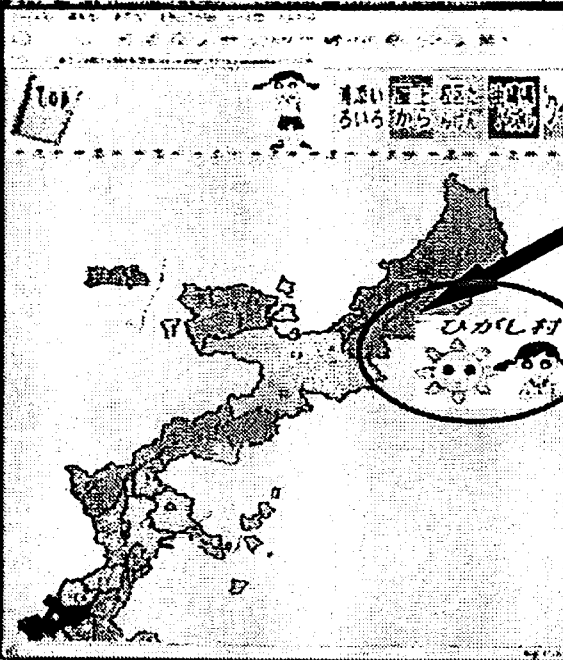


画面26 (Dコース:TOP)

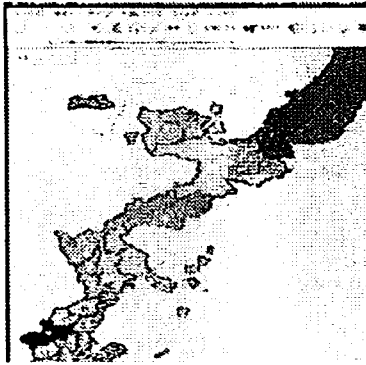
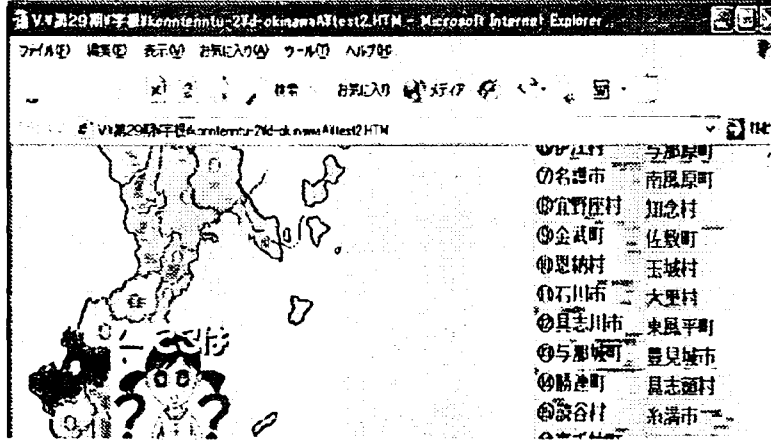
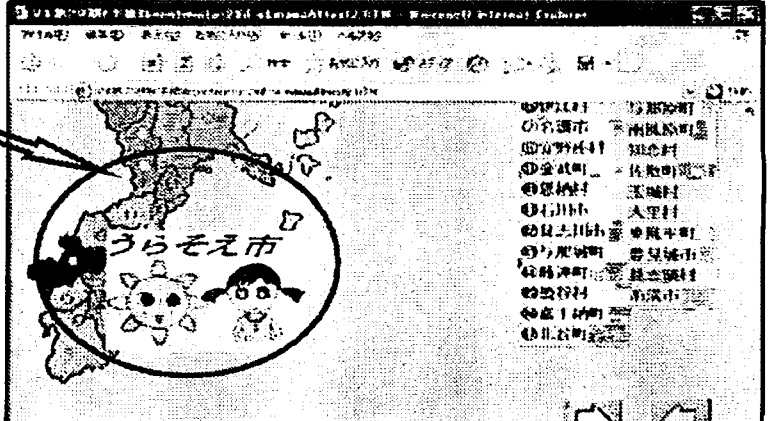


画面27(Dコース: 沖縄地図テスト1号)

D 沖縄地図コース 沖縄地図テスト1号

| 学習の流れ | 画面 | 備考 |
|---|--|---|
| <p>○パートナーで地図テスト1号に挑戦しましょう。</p> <p>○交互に問題を出し合ひましょう。</p> <p>○これだと思った市町村名を言ひましょう。</p> |  <p>画面28 (Dコース: 沖縄地図テスト1号ボタン)</p> | <p>※ヒントとして、市・町・村ごとに色をわけてある。</p> <p>※ボタン オレンジボタン (村名) 青ボタン (町名) 黄色ボタン (市名)</p> |
| <p>○答えたら、その場でボタンをクリックして確かめましょう。</p>  |  <p>画面29 (Dコース: 沖縄地図テスト1号答え)</p> | <p>※ボタンをクリックするとその市町村名がでる。</p> |

D 沖縄地図コース 沖縄地図テスト2号

| 学習の流れ | 画面 ・ 備考 |
|--|--|
| <p>○市町村名をいくつかいえるかな？</p> <p>○プリントアウトした白地図を用意して、市町村名を書き込みましょう。</p> <p>○お友達と交互に問題を出し合うといいですね。</p> | <div style="text-align: right;"> <p>※沖縄テスト1号2号 共通画面</p> <p>※プリントの白地図を 書き込みながらす めるとよい。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">画面30 (Dコース:テスト2号ボタン)</p> |
| <p>○ボタンをクリックすると右の画面のように「ここは？」と質問がでできます。(画面31)</p> <p>○答えを見る前に、声にして「〇〇市」、「〇〇町」と答えましょう</p> <p>○右側の欄からこれだと思う市町村名を選んでね。 (画面31)</p> | <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">画面31 (Dコース:沖縄地図テスト2号 ここは?)</p> |
| <p>○正解だと左下のよう、市町村名がでるよ。 (画面32)</p> <p>○何も出なかったらまちがっているということです。もう一度チャレンジしましょう。</p> | <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">画面32 (Dコース:沖縄地図テスト2号 答え)</p> |

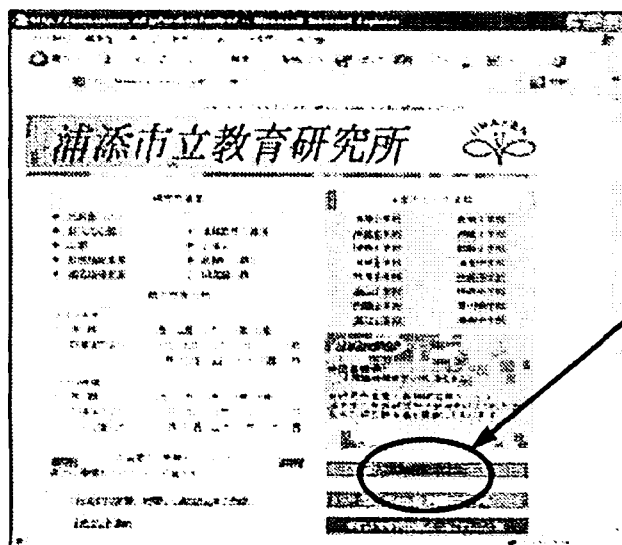
V システムと利用手順あれこれ

<文書管理システムについて> . . . 地域イントラ内(市内小中学校)

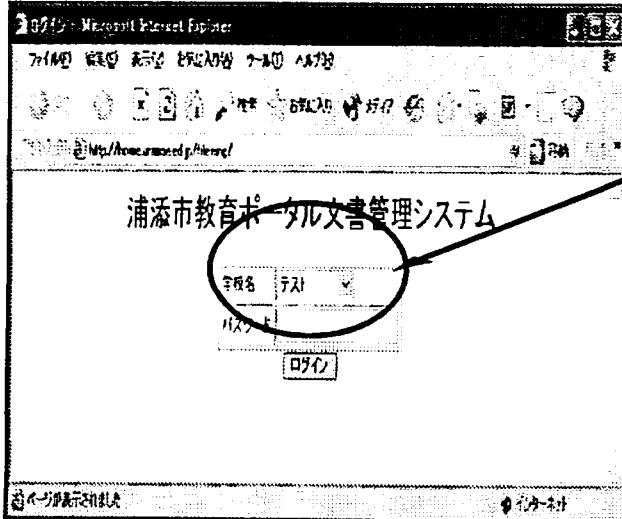
本システムは、市内小中学校における学習を支援するために構築されたものである。市内の教職員が作成した学習教材を市役所センターサーバーに保管し、学習内容に応じた資料等を共有、活用を図ることができる。システムの内容は、小中学校の各学年の教科単元に合わせた資料が保存されており学習に応じて資料を取り出し活用できるようになっている。学習資料は、市内教職員が作成した、学習ワークや指導案、画像データや年間の学習指導計画などが保存できるようになっている。資料等の保存は、各学校から直接サーバーへ保存できるような構成になっており、市内教職員の協力のもとにシステムの充実がはかれるものである。

<文書管理システムの利用手順>

<http://home.urasoc.ed.jp/filemng/index.php>



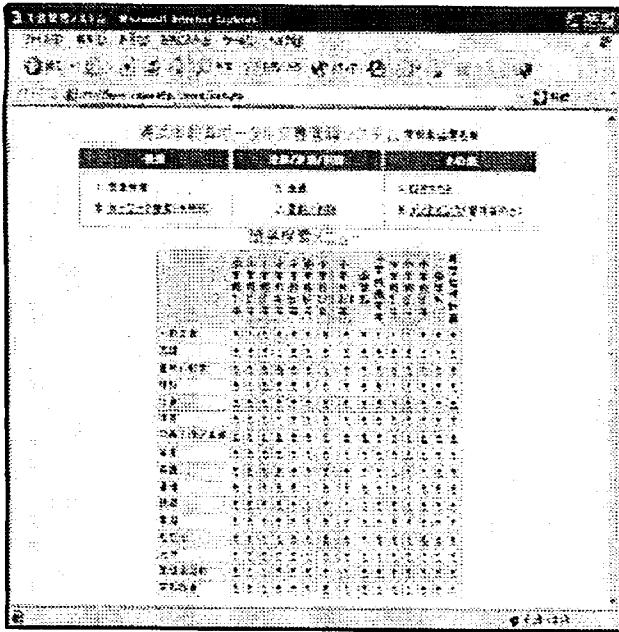
1 下記のURLをインターネットのアドレスバーに直接入力するか若しくは、浦添市教育研究所ホームページ上から「文書管理システム」をクリックする。



2 浦添市教育ポータル文書管理システムが表示

「学校名」
「パスワード」を入力
※ パスワードは、各学校へ別配布

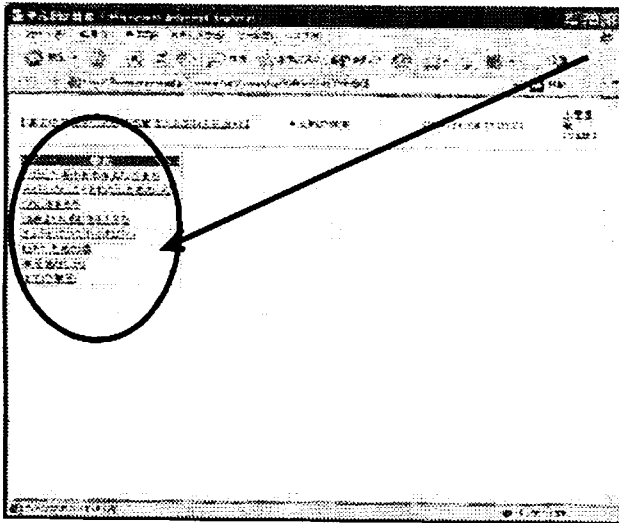
「ログイン」



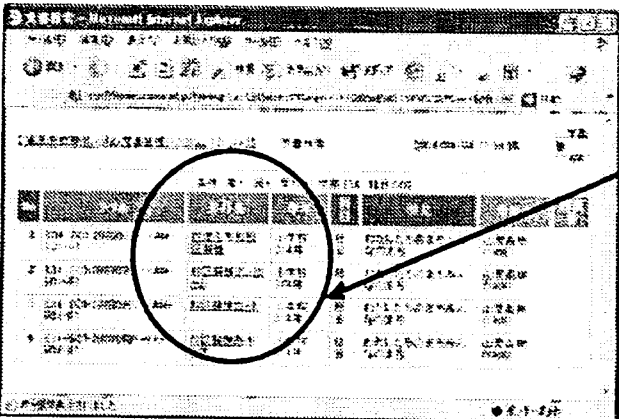
3 ログインすると

各学年の教科及び学年一覧が表示されます。

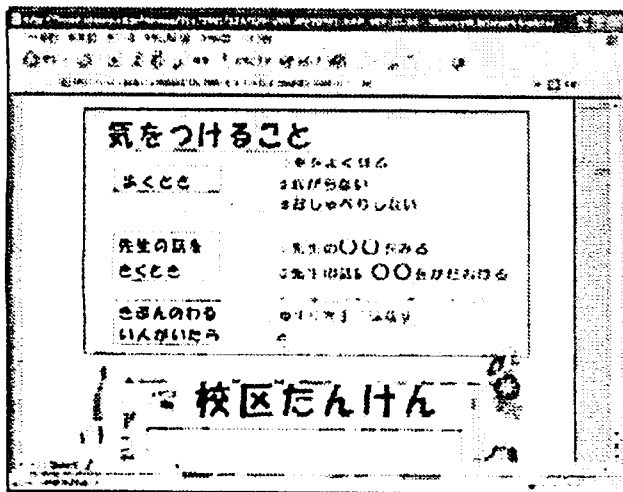
目的の項を選択し「クリック(マウス左ボタン)」



4 教科の単元一覧が表示されます。



5 単元内のデータファイル一覧が表示され、学習に必要な項目(タイトル名)を「クリック(マウス左ボタン)」するとデータ内容が表示されます。

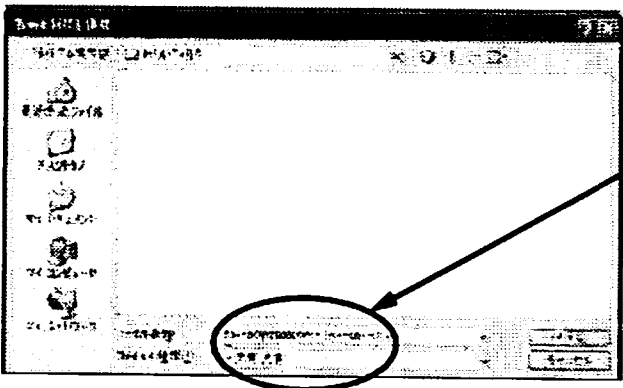


6 単元内のデータファイルの内容を確認し、活用方法を検討する。



7 単元内のデータを確認し、画面上で「ダブルクリック(左ボタン)」すると、データファイルを直接編集することができます。編集後は、データを保存してください。

※ 文書管理システム上のデータは変更されません。



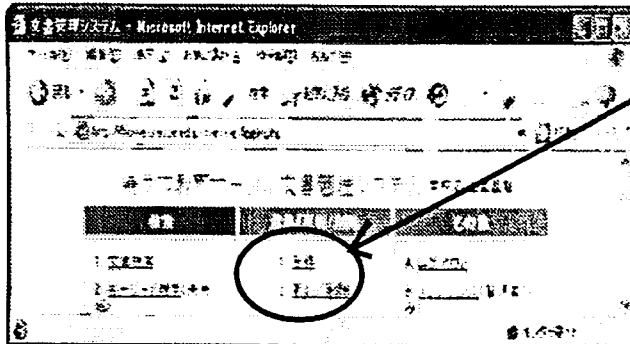
8 データの内容を確認し

※ 5の「タイトル名」を右クリックするとデータを保存することができます。

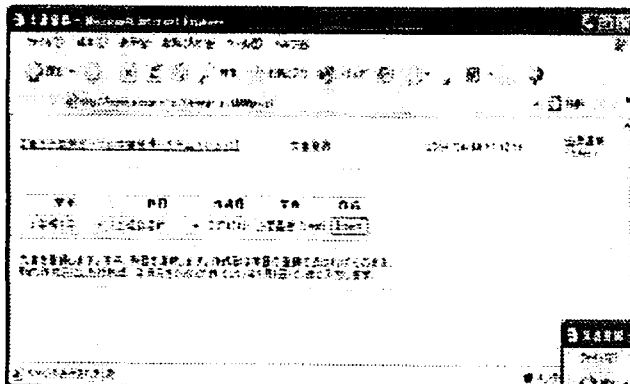
データの保存先を指定し、ファイル名を付けて自身のデータをして加工・編集し学習へ活用する。

<システムへの文書登録>

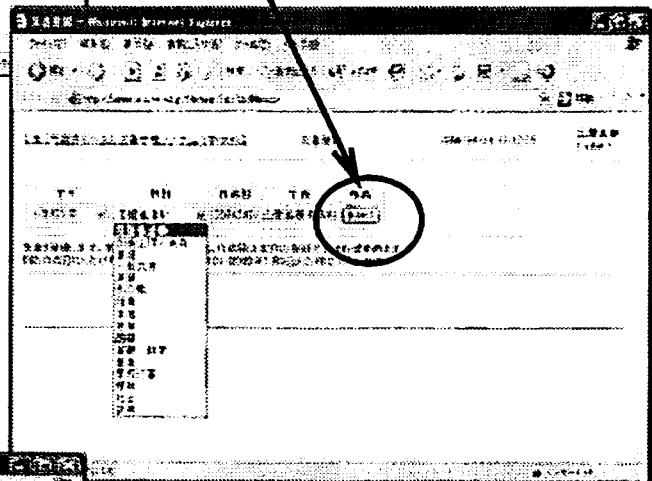
文書利用手順の1～3の手順で左の画面を表示させます。



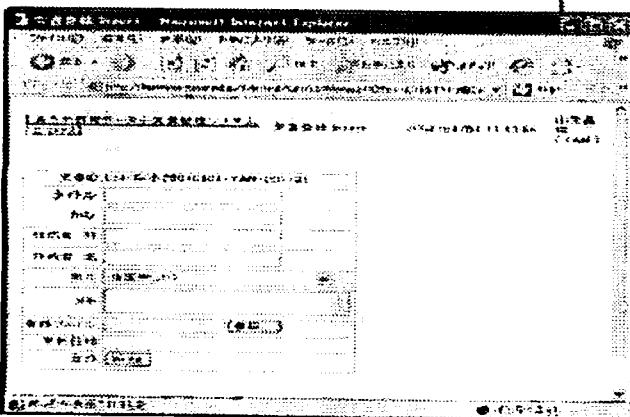
1 システムのメニュー一覧から
「登録」をクリック

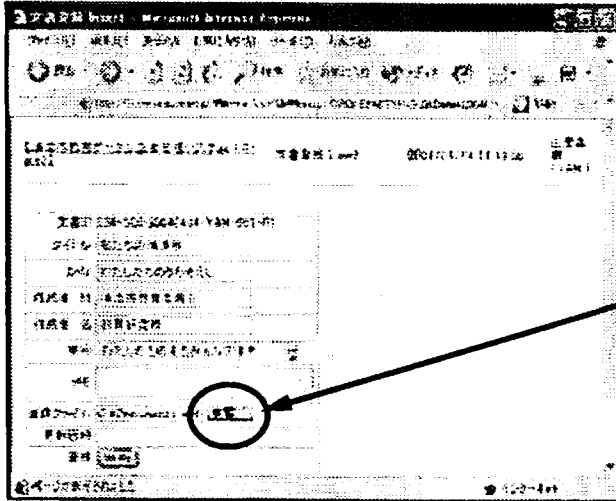


2 「対象学年」
「科目」
「学校名」
を選択し、「作成」
ボタンをクリック



3 insert ボタンをクリックすると左の
画面が表示されます



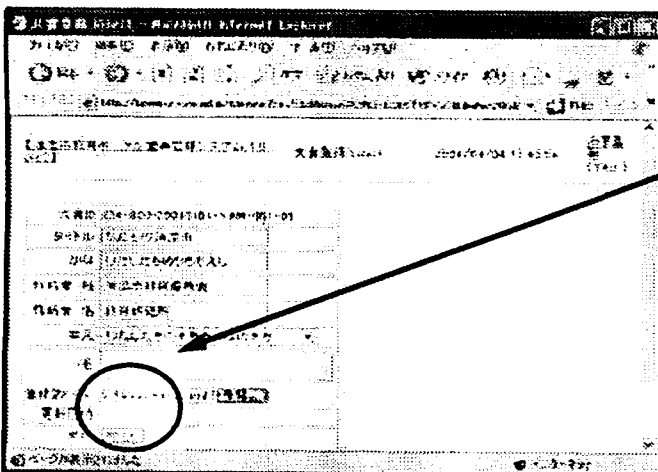
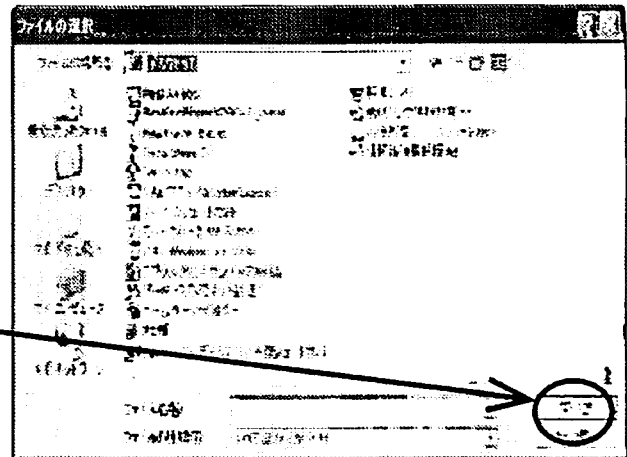


4 「タイトル」
「かな」
「作成者名」の姓、名を記入
単元を選択します。

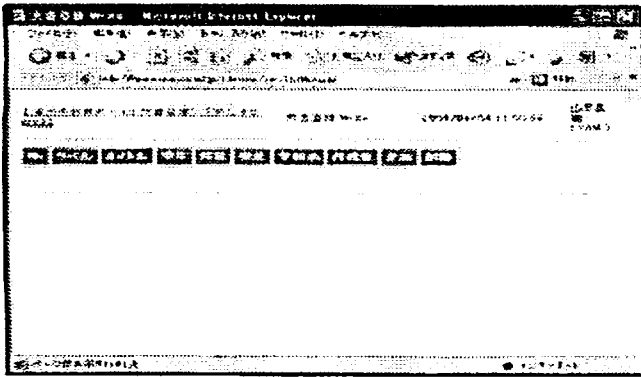
※ 上記の項目を選択、記入を確認し
登録ファイルを選択します。

「登録ファイル」項目から参照を選択
すると下記の画面が表示されます

5 登録するファイルを自身の
コンピュータから選択し **開く**
をクリック



6 参照からデータを開いたことを確
認し「登録ボタン」 **Write**を
クリックします。

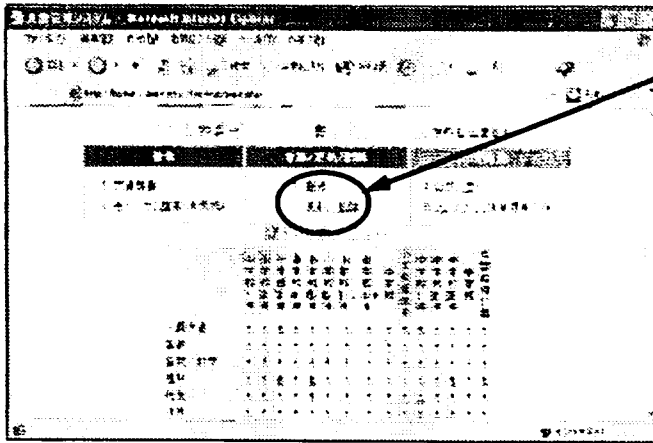


7 データを登録すると左の画面が表示され登録したデータの内容を確認することができます。

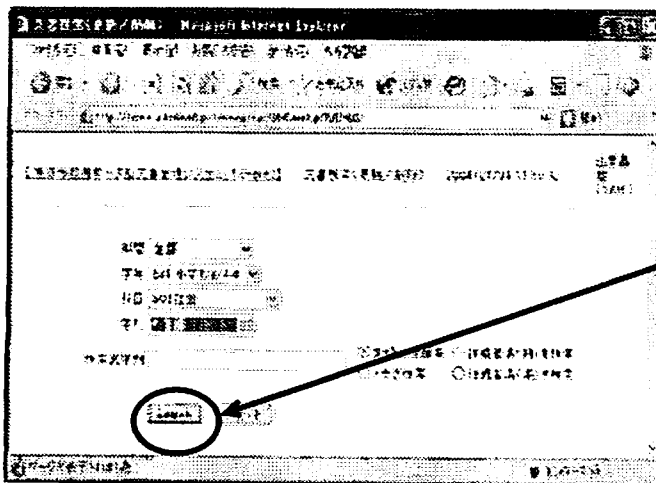
※ データの登録が終了すると文書管理システムのトップ画面にもどり、ファイルが閲覧できるか確認してください。

<登録文書の更新と削除>

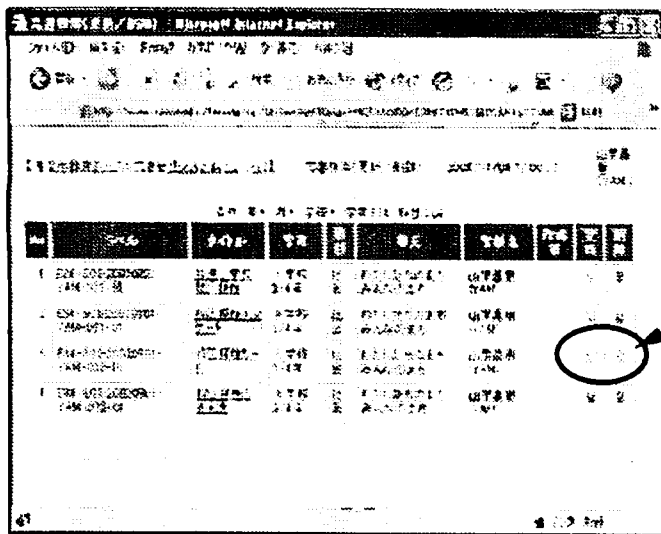
文書利用手順の1～3の手順で左の画面を表示させます。



1 システムのメニュー一覧から「更新/削除」をクリック



2 自分自身で登録した、データについて「学年」「科目」「学校」を記入し Search ボタンをクリック

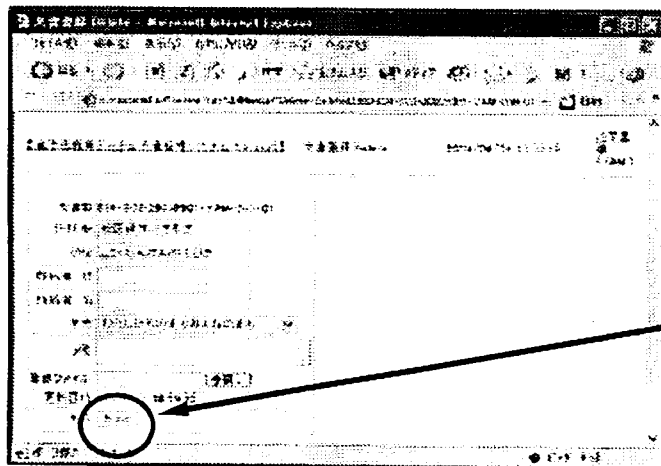


3 上記の条件に応じた内容が一覧表示されます。

「タイトル」「学年」「学校名」確認し「更新」もしくは「削除」を選択します。

「更新」の場合は
 「削除」の場合は
 のボタンをクリック

4 システム登録のデータを「更新」する場合
 (文書登録と同じ手順で行います)



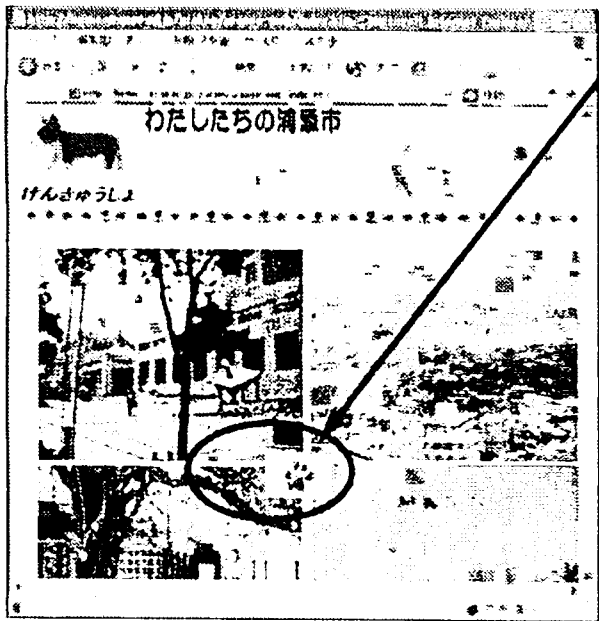
5 システム登録のデータを「削除」する場合

上記の「削除」の場合は のボタンをクリック

左の画面が表示され Erase ボタンをクリックするとデータが削除されます。

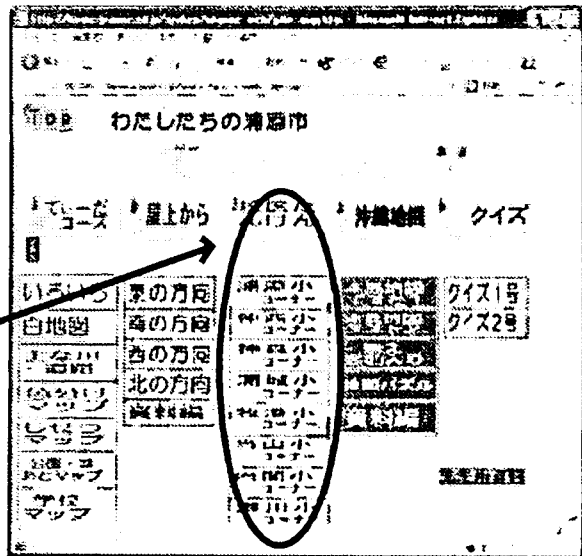
※ データを削除した後は、文書管理システムのトップ画面にもどり、ファイルが削除されたことを確認してください。

<画像の印刷と保存>



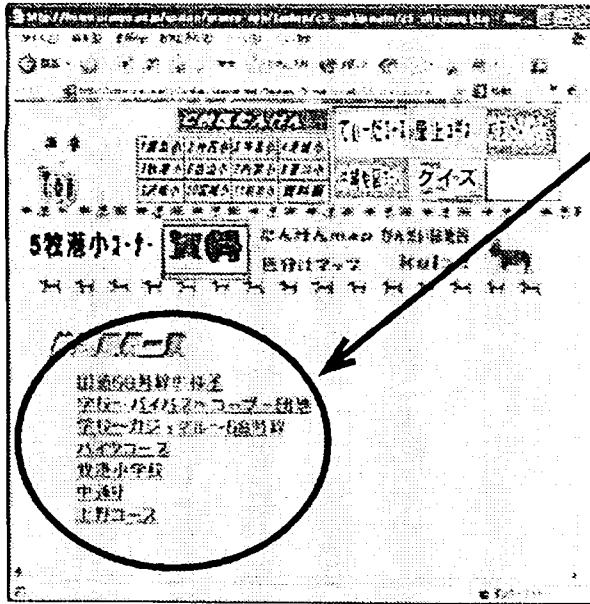
1 「わたしたちの浦添市」TOP画面からクリック

2 サイトマップが表示され、ページ内の内容が確認できます。各学校区の校区画像を表示させるためには、「校区探検」の各学校のコーナーをクリック



3 各学校のTOP画面が表示されます。校区画像は、学校メニューのから「資料」を選択しクリック



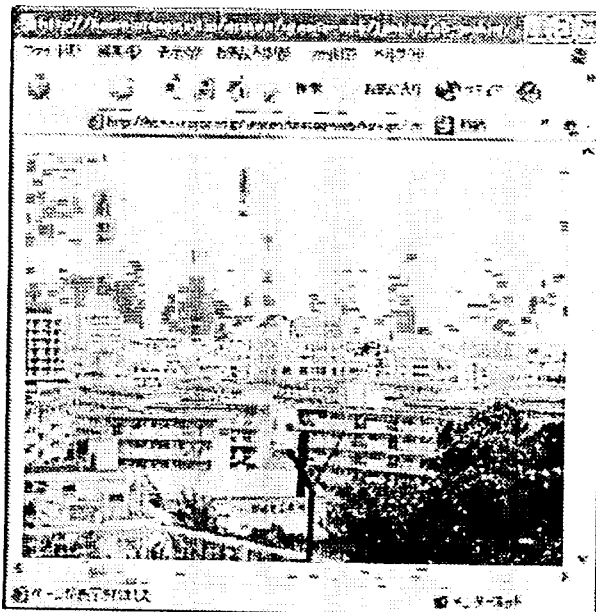


4 校区のメニューから「資料」を選択すると「校区画像一覧」から、学校周辺のコースが表示されます。

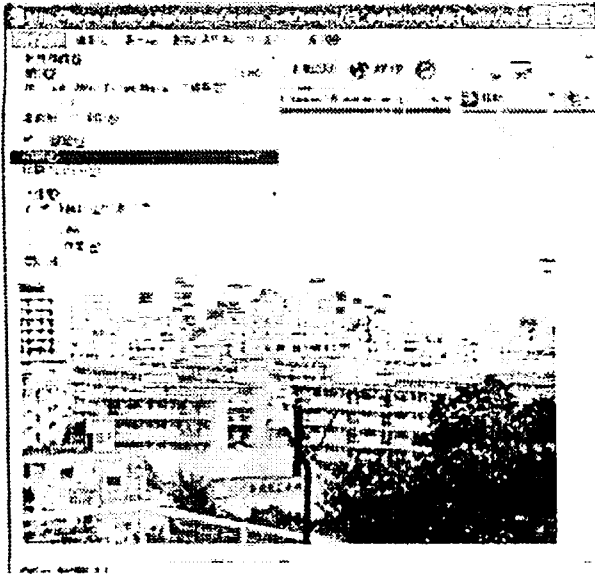
目的のコースを選択しクリック

下のように、コース別の画像一覧が表示されます。

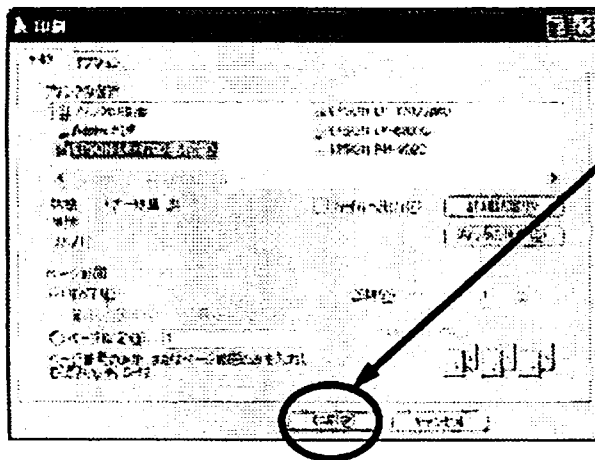
5 一覧画像から、印刷(保存)したい画像を選択し、クリックすると、下のように拡大画像が表示されます。



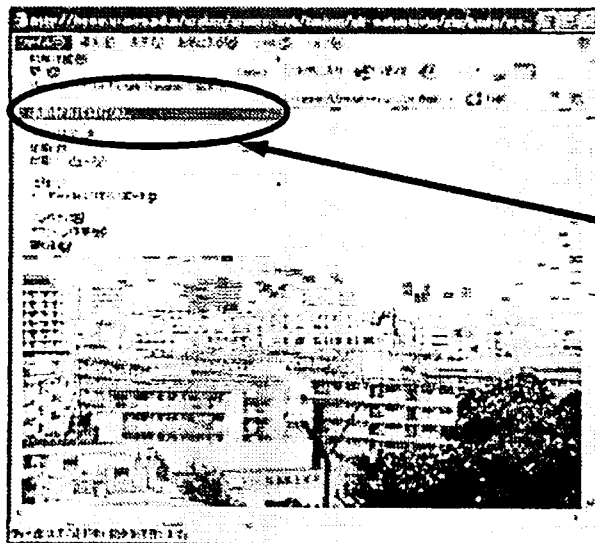
6 画像を確認



7 目的の画像を確認すると
画面左上から「ファイル」を選択するとメニューが表示され「印刷」を選択します。

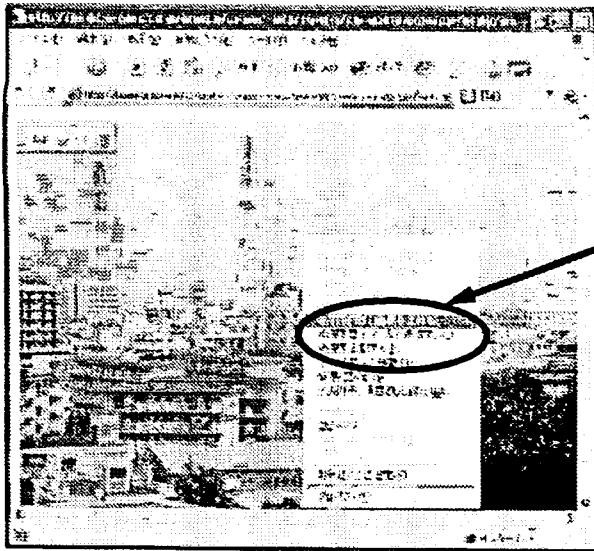


8 印刷画面から、プリンターを選択し印刷をクリック



9 画像の保存方法
(その1)
目的の画像を表示させます。
上記の1～6の手順

画面左上の「ファイル」をクリックするとファイルメニュー一覧が表示されます。「名前をつけて保存」を選択

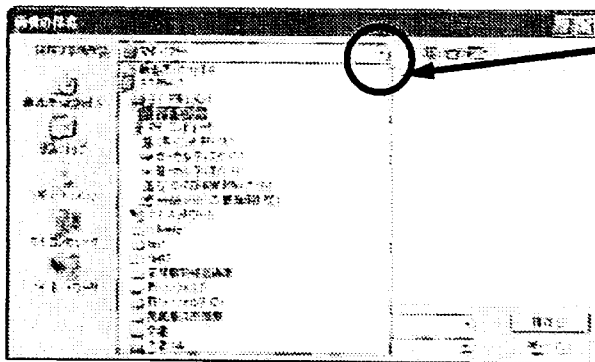


(その2)

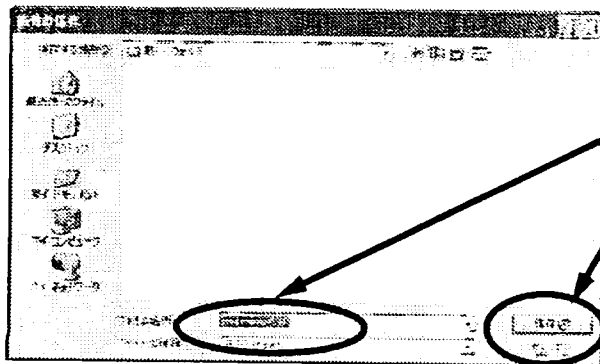
目的の画像を表示させます。

画面上でマウスの右ボタンをクリックするとメニュー一覧が表示され、「名前をつけて保存」を選択

その1・その2の方法で保存を行うことができます。



10 画像の保存場所を指定します。
下向きの▼から保存場所を選択します。



11 保存場所を選択したら
ファイル名をつけて、
「保存」ボタンをクリックします。

【参考文献及び資料提供】

<文献・図書>

- 「小学校学習指導要領解説 社会編」 平成 11 年 5 月 文部省発行

- 谷 和樹
「授業で“学び方技能をどう育てるか”」 2001 年 4 月 明治図書発行

- 「のびゆく鈴鹿市指導の手引き」 一小学校中学年社会科指導資料一
平成 14 年 3 月 鈴鹿市立教育研究所発行
- 「のびゆく鈴鹿市デジタル資料集マニュアル」 平成 15 年 3 月 鈴鹿市立教育研究所発行
- 「改訂版 わたしたちの浦添市 3・4 年上」 平成 15 年 3 月 浦添市教育委員会発行
- 「改訂版 のびゆく浦添市 3・4 年下」 平成 15 年 3 月 浦添市教育委員会発行

<インターネット資料>

- 鈴木 克明 東北学院大学教授
「マルチメディア教材開発の実際」 1999 年 1. 25 ~ 28
マルチメディア教材開発養成講座（文部省生涯学習局）テキスト原稿

- 鈴木 茂 千葉市立海浜打瀬小学校
「かんたんマップ」 ファイル名 map0028.lzh map00280.exe
2002/2/11

【資料提供協力】

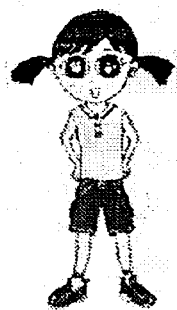
浦添市都市計画課

浦添小学校 仲西小学校 神森小学校 浦城小学校 牧港小学校 内間小学校 当山小学校
港川小学校 宮城小学校 沢岬小学校 前田小学校

【完成地図用絵地図記号】

—太郎スマイル使用

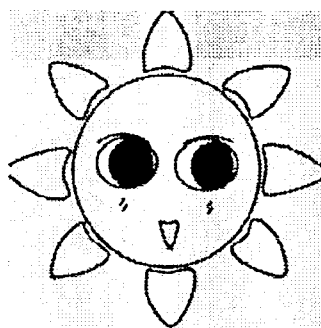
【自作キャラクター】



女の子



男の子



ていーだくん



シーサーくん

編 集 者

研究協力員

| | |
|-------------|---------|
| 浦添市立牧港小学校教諭 | 宇 根 教 子 |
| 浦添市立牧港小学校教諭 | 古波蔵 美 香 |
| 浦添市立神森小学校教諭 | 与古田 思 信 |
| 浦添市立前田小学校教諭 | 飛 田 昌 恵 |

研究協力員担当主事

| | |
|---------------|---------|
| 浦添市立教育研究所指導主事 | 山 里 昌 樹 |
|---------------|---------|

技術協力者

| | |
|----------|-------|
| 浦添市IT指導員 | 濱 崎 守 |
|----------|-------|

私たちの浦添市

「ていーだくん」ガイドブック

発行日 平成16年 3月
発行所 浦添市立教育研究所
所在地 〒901-2501
浦添市仲間二丁目47番1号
電話 098(876)7522
FAX 098(876)7222
E-mail uraken@urasoe.ed.jp

<http://www.urasoe.ed.jp/uraken/index/>